

姉妹都市・友好都市について

松野 久郎



〔質問〕ハーストビル市は平成28年5月に合併し、ジョージズ・リバー市になったが、姉妹都市としての対応について伺う。

〔答弁〕【市長】本市としては、引き続きジョージズ・リバー市との交流を望んでいるが、先方から前向きな返事がいただけないことから、姉妹都市交流の再開は難しいと判断している。

けたいと考えている。

〔質問〕ベラルーシ共和国新体操チーム事前合宿招致が決定し、交流を行なっているが、東京オリンピック終了後の交流をどうするのか伺う。

〔答弁〕【市長】同国との交流については、物産、観光、スポーツ、文化芸術、青少年交流など幅広い分野で、どのような交流が可能かを検討しながら、具体的に進める考えである。

◎有害鳥獣被害防止対策について

〔質問〕サルによる被害が市内広域にわたって発生しているが、市であつせんしている追い払い花火の活用は、地域で一斉に打つことで効果が大きかった実例もあることから、行政からの実践指導を提案するが、

所見を伺う。

〔答弁〕【農林課長】何度も同じ花火音を発しているという慣れが、現在鳥獣被害対策実施隊により、春秋2回ずつ、合計4回の銃による追い払いや捕獲を行なっている。また、研修会も行なっているため、多くの方に参加していただければと考えている。

◎白石市役所における障がい者雇用の状況について

〔質問〕現在の障がい者雇用状況について伺う。

〔答弁〕【総務部長】本年度の基準日、6月1日現在、職員35名中、障がい者雇用者数9名で、雇用率27.5%と法定雇用率2.5%を上回っている。

◎その他の質問

◎小学校の統合後の状況及び中学校統廃合の準備状況について

将来的な小中学校の統廃合について

菊地 忠久



〔質問〕今後、さらに子どもの数が減少するこゝとが推計されており、将来的には小中学校のさらなる統廃合も視野に入れるべきと考える。

〔答弁〕【市長】「しんごく」は今後の議論の結果によるが、子どもの数が減少するのは明らかであり、将来を見据え、今から議論を開始すべきと考えるが、所見を伺う。

〔質問〕【教育長】平成26年度に出された小中学校の在り方検討委員会の答申では、年間出生数は1学年250人程度での推移が前提だが、実際は200人程度で推移している状況である。

今後のあり方について

て検討を開始していきたいと考えているが、学校再編、例えば義務教育学校や小中一貫校なども含めて柔軟に検討していく方針である。

〔答弁〕【市長】大きな課題である。さまざまな角度から検討・議論しなければならぬ。

子どもの教育環境のため、子どもやお金、人を集中させることも一つの考え方である。

多くの市民を巻き込みながら一緒に議論を行なっていく。

◎白石市民バスをグーグルマップで検索可能にするか

〔質問〕日本では月平均約3千300万人がグーグルマップを利用しているが、バス路線がグーグルマップに反映されていない本市は、仮に東京から鎌先温泉まで公共交通

機関で検索すると「経路が見つかりません」と表示される。

白石市民バスをグーグルマップに掲載可能にすることで、新たな観光客の誘致と利便性の向上を図るべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】国土交通省が定めた標準的なバス情報フォーマットの整備により、経路検索におけるバス情報の充実が期待されるが、多数のデータ入力によるフォーマット作成は困難であり、作成支援ツールの整備や作成外注の必要性も指摘されている。

今後、導入済みの事業者や国土交通省での実証実験の成果等を研究し検討したい。

◎その他の質問

◎農商工連携を核とした賑わい交流拠点（しろいし Sun Park）について

◎市長によるトップセールスについて